

1月16日(木)
自分のまちを知ろう！
館報編集委員で行ってみました！
「てるて姫の里」探訪！

10:00 出発 横山公民館
姥沢地区
横山丘陵緑地
日金沢上地区
横山公園
11:30 到着 JR 上溝駅

10:00 横山公民館出発



横山小の脇の小さな踏切を渡り右手の 230 段ほどある階段を下るとそこは姥沢の木立。
もう照手姫の世界への入り口である。

広場の先には東屋があり、すぐそばに相模原市の日本画家吉川啓示氏による照手姫と姪女が描かれている「姥沢幻想の碑」がある。

照手姫が産湯を使った、とされている場所である。
さらに木道をたどると「照手姫遺跡の碑」がある。この一帯は
緑多く街の喧騒も聞こえぬ。

姥沢地区から上溝方面に緑地を進むと湧き水の流れる「鏡の泉」そして上溝方面を眺望する見晴らし台がある。

バス通りへ出て左手に行くと照手姫を祭った榎神社がある。照手姫が参拝の際差した杖が根付いたと伝えられる榎の太木がある。逆さ榎といわれ枝が下方向へ伸びていたようだ。現在は榎の二代目だそうだ。

ここから横山公園へ。県の園芸試験場であったところできながわゆめ国体のためのスポーツ施設建設のため園芸場は移転したようだ。球場の脇に小さな築山がある。上溝城のあったところとの説もあるが定かではない。

1時間半ほどの横山丘陵探訪を終え、横山公園近くの「花門」で昼食を楽しんだ。

 館報編集委員 M

今回、照手姫誕生の地を訪れて初めて全国に照手姫の伝承がたくさんあることを知りました。

姥沢と日金沢上の間にある入口から入る階段を降りて右側姥沢方面へ行くとすぐに木々が覆いかぶさり緑豊かでその静けさはまるで別世界の様。木漏れ日の中を歩くのも心地良く冬の寒さも暫し忘れていました。

暫く行って木道がありその先に立派な東屋が見えてきました。近くに【姥沢幻想の碑】があり、照手姫と乳母の日野金子が会話をしている姿が描かれています。その少し先右手に【照手姫遺跡の碑】があり、これは姥川最上流部水源地にあったものをここに移設されたようで、照手姫はその湧き水で産湯を使ったと伝えられています。ここから引き返して上溝方面へ細い山道を進んで行くと、きれいな湧き水が流れる【鏡の泉】があり、照手姫が泉に身を映してお化粧をしたと言われているそうです。その先を歩いて行くと、木々が少し開けた場所に【眺望の湯】があり、上溝や丹沢の山々が木の間に少し見えました。昔は一望できたのでしょう。その後は、川で水を汲みあげている照手姫のレリーフがある日金沢橋から照手姫がさした杖が根付いたと言われる逆さ榎がある【榎神社】へ。これにて散策を終えましたが、緑豊かな自然の中お散歩に丁度良いコースですので、一度訪れてみるのも良いと思います。

館報編集委員 T

太湖石

橫山公園

上溝中学校

JR 上溝駅

11:30 上溝駅到着

横山地区に残る「てるて姫」ゆかりのポイントを軸に巡ってみました 建て並ぶ家々から一步入っただけで別世界の様な森が広がる「横山丘陵緑地」は手加えられ過ぎず 少々歩きにくさを感じる歩道も自然そのもので 一瞬日常から離れた感覚になりました 枯草をコートに付け 小枝を踏む音と共に 細道を行くと 春はどんな緑の風景に変わるのか 楽しみになりました 所々に点在する「てるて姫」の痕跡は 地味で目立つところ事が無く それもまた「伝説」と言われる曖昧な魅力を際立たせている様でした

館報編集委員 0